



## 特集

## LGWAN-ASPとは？

LGWAN-ASPとは、利用者である地方公共団体の職員に、LGWANという非常にセキュアなネットワークを介して、各種行政事務サービスを提供するものです。

一般的なASPは、「アプリケーションサービスの提供」が主流のサービス形態です。これに加えて、サーバーリソースの提供を行うホスティングサービスや、IDC等のデータセンター施設を利用したハウジングサービス等も広義のASPサービスと考えられます。LGWAN-ASPは、ファシリティ層から上位アプリケーション層に至る各層において、各層ごとに細分化したサービスを提供しています。平成15年から本格的な接続の受付を開始し、現在、多くのサービスが提供され、利活用されています。

今回は、LGWAN-ASPの目的、メリット並びに接続及び登録のための手続き等について説明します。

### 1 目的

LGWAN-ASPは、行政専用のセキュアなネットワークであるLGWANを利用して、高度な品質のサービス及びリソースを地方公共団体間で共同利用することにより、地方公共団体のIT化の促進、IT活用格差等の解消、システムの導入及び運用の経済性を実現することを目的としています（図-1）。

### 2 メリット

#### (1) 地方公共団体におけるメリット

地方公共団体がLGWAN-ASPを利用することにより、次のメリットがあります（図-2）。

#### (2) LGWAN-ASPのサービス提供者におけるメリット

LGWAN-ASPは、民間事業者及び国の行政機関

図-1 LGWAN-ASPの目的

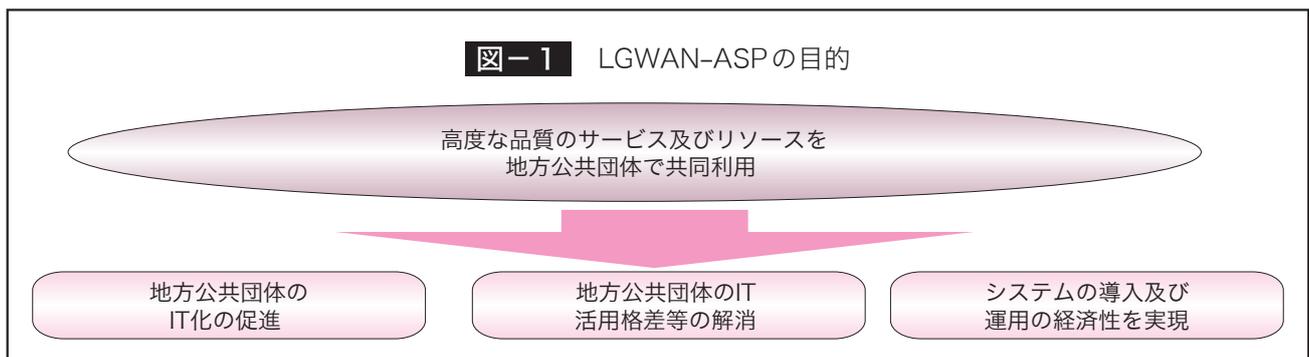
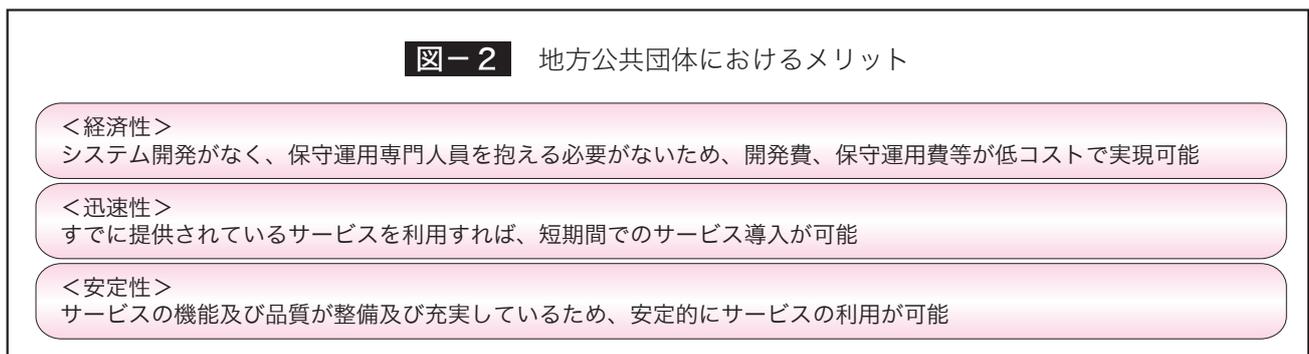


図-2 地方公共団体におけるメリット



等のほか、地方公共団体もサービス提供者となることが出来ます。サービス提供者には、次のメリットがあります（図-3）。

### 3 サービスの分類

LGWAN-ASPは、図-4のLGWAN-ASPのサー

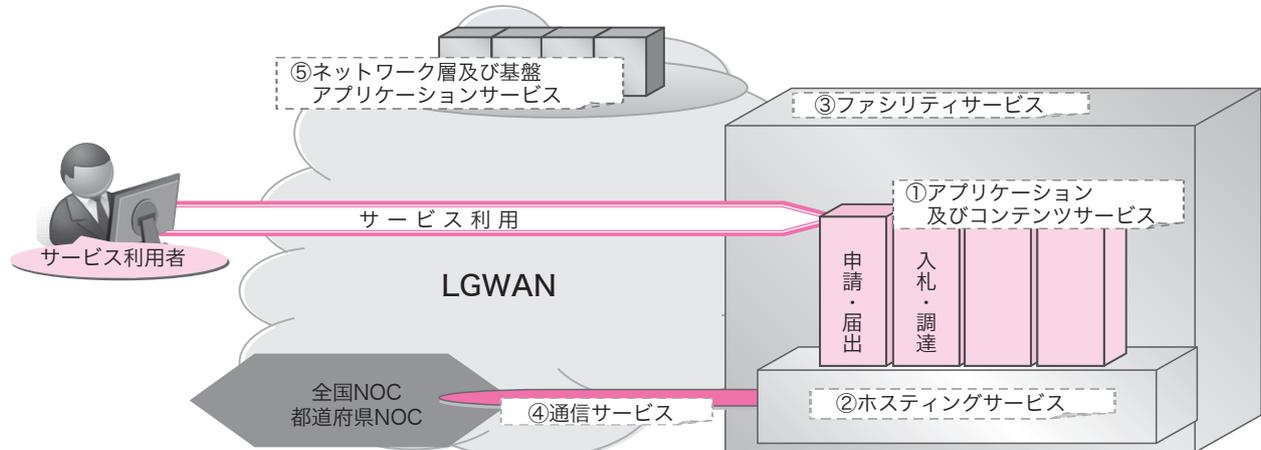
ビスの分類で示す五つのサービスにより構成されています。

LGWAN-ASPサービス提供者は、ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービスを省く、ファシリティサービス、通信サービス、ホスティングサービス並びにアプリケーション及びコンテンツサービスのいずれか、または複数を提供することができま

図-3 LGWAN-ASPのサービス提供者におけるメリット

- <経済性>  
新規の端末、回線の敷設等が不要であるため、サービスが低コストで実現
- <信頼性>  
高度な情報セキュリティ対策が施されたLGWANを利用するため、サービスの信頼性が向上
- <拡張性>  
一度サービス提供環境を構築すれば、サービス拡充・追加が容易

図-4 LGWAN-ASPのサービス分類



①アプリケーション及びコンテンツサービス 各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供します。	利用者：LGWAN参加団体
②ホスティングサービス アプリケーションが稼働するサーバ機器を提供するとともに、運用管理を行います。	利用者：アプリケーションサービス提供者
③ファシリティサービス ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、また、そこでの電源、空調等の設備を提供します。	利用者：ホスティングサービス提供者
④通信サービス ホスティングサービスの構成機器をLGWANに接続する専用回線を提供します。	利用者：ホスティングサービス提供者
⑤ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス※ アドレス、ドメイン名管理、基本プロトコル群（HTTP等）及びアプリケーション基盤（認証基盤、ディレクトリ基盤、公証基盤及びLGWAN電子文書交換システム）を提供します。	利用者：LGWAN参加団体、LGWAN-ASPサービス提供者

す。アプリケーションサービスを展開する場合には、これらのサービスを組み合わせて、LGWAN-ASPを構築することとなります。

#### 4 接続及び登録のための手続き

LGWAN-ASPのサービス提供者となるには、総合行政ネットワーク運営主体へLGWAN-ASP参加資格審査を申請し、受理されることが必要となります。LGWAN-ASP参加資格を取得した後、提供し

たいサービスを申請し受理されると、LGWAN-ASP提供者としてASPのサービスを提供することができます。

LGWAN-ASP参加資格の取得と提供したいサービスの申請までの手順は、図-5のとおりです。

なお、LGWAN-ASP登録及び接続申込手順の詳細については、総合行政ネットワークASPガイドライン (<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,7638,41.html>) の第7章をご覧ください。

図-5 LGWAN-ASP参加資格取得とサービス申請手順

##### (1) 参加資格審査申込書提出

- 「総合行政ネットワークASP接続及び登録に関する参加資格申込書」（以下「参加資格審査申込書」という。）を提出してください。
- LGWAN-ASPに関する照会及び申込に必要な資料は、LASDECのホームページからダウンロードすることが可能です。なお、照会については、電子メールによる受付も行っています。
- 代表の権限者が組織内の責任者に対し申込に必要な代表権限を委任する場合は、「総合行政ネットワークASP接続及び登録申込等における代表者権限の委任状」を添えてください。
- 参加資格審査の結果については、総合行政ネットワーク運営主体から総合行政ネットワークASP参加に関する結果通知を送付します。

##### 提出様式

- 「G・1・1・9\_参加資格審査申込・変更届出書」
- 「G・1・1・9\_代表者権限の委任状」

##### (2) 登録/接続申込書提出

- サービス提供希望者は、総合行政ネットワーク運営主体に対し、ホスティングサービスについては、総合行政ネットワークASP接続（変更）申込書、ファシリティサービス又は通信サービスについては、総合行政ネットワークASP登録（変更）申込書により、代表者権限を有する者において、申込書の提出をしてください。
- なお、この場合においても代表者権限を委任する場合は、所定の委任状の提出が必要となります。
- 登録資格審査又は接続資格審査の結果は、総合行政ネットワーク運営主体より、総合行政ネットワークASP登録に関する結果通知、又は総合行政ネットワークASP接続に関する結果通知を送付します。

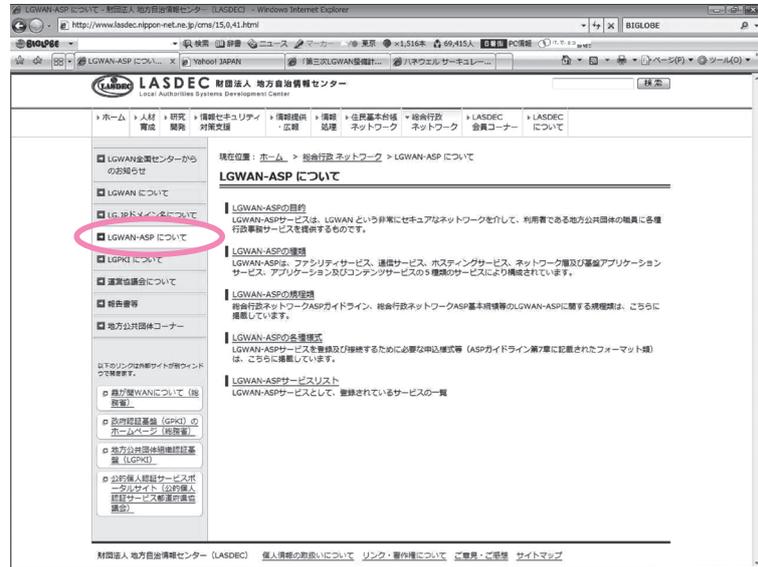
##### 提出様式

- 「G・1・1・9\_ホスティングサービス接続/変更/解除申込書様式」
- 「G・1・1・9\_通信サービス登録/変更/解除申込書様式」
- 「G・1・1・9\_ファシリティサービス登録/変更/解除申込書様式」

## 5 参考

LGWAN-ASPに関する情報 (LGWAN-ASPサービスリスト) は、インターネット上の(財)地方自治情報センターホームページ (<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/1.html>) から入手できます。また、具体的な技術仕様書の入手方法や、申込様式等もこのホームページに掲載されていますのでご利用ください (図-6)。

図-6 LGWAN-ASPについてのページ



## 6 接続料金

LGWANというネットワーク環境を利用すること

に対する費用負担として、LGWAN-ASP接続料金が定められており、これはLGWAN-ASPホスティングサービス提供者にのみ課金されます。その他の

表-1 LGWAN-ASP接続料金 一時費用

	料金 (税込)	単位	説明
LGWAN設定料	105,000円	新規及び変更の都度	サービスに必要なDNS設定及びLGWAN-ASP設定セグメントへのルーティング設定等
IPアドレス発行料	10,500円	アドレスごと	サービスに必要なグローバルIPアドレス、ドメイン名の発行
アプリケーション証明書発行料	63,000円	証明書1件ごと	LGPKI認証局からのアプリケーション証明書が必要な場合 ASP提供者が都道府県、参加団体の場合は負担免除

表-2 LGWAN-ASP接続料金 年間経常費用

提供先とLGWANへの接続箇所			回線帯域	料金 (税込)
サービス提供先	LGWANへの接続箇所	その他条件		
複数の都道府県域	全国NOCに接続	-	狭帯域 (10Mbps未満)	3,276,000円
			中帯域 (10~100Mbps)	3,570,000円
			広帯域 (100Mbps超過)	3,864,000円
単一の都道府県域内	いずれかの都道府県NOCに接続	-	狭帯域 (10Mbps未満)	2,520,000円
			中帯域 (10~100Mbps)	2,709,000円
			広帯域 (100Mbps超過)	2,919,000円
		提供者が都道府県の場合	(帯域に依存しない)	651,000円

LGWAN-ASP参加資格審査・資格取得、LGWAN-ASPファシリティサービス、LGWAN-ASP通信サービス、LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスには料金がかかりません。

LGWAN-ASPホスティングサービスのサービス提供者に生じるLGWAN-ASP接続料金（単位：円）は表-1及び表-2のとおりです。

なお、経常費用にはASP接続設備管監視料、ASP運用管理料、ASPセグメント維持保証料、バックボーン回線使用料、LGWAN利用料等が含まれます。また、経常費用の一部は、利用するLGWAN-ASP通信サービスの回線帯域により料金が異なります。

システムを廃止し、民間企業などが提供する同種のサービスを利用する形態に移行しているためであり、LGWAN-ASPの目的である「共同利用」がさらに進んできたものと考えられます（図-7）。

また、全国的な新制度におけるシステム開発要件において、LGWAN-ASPを利用することを前提とした事例もあります。

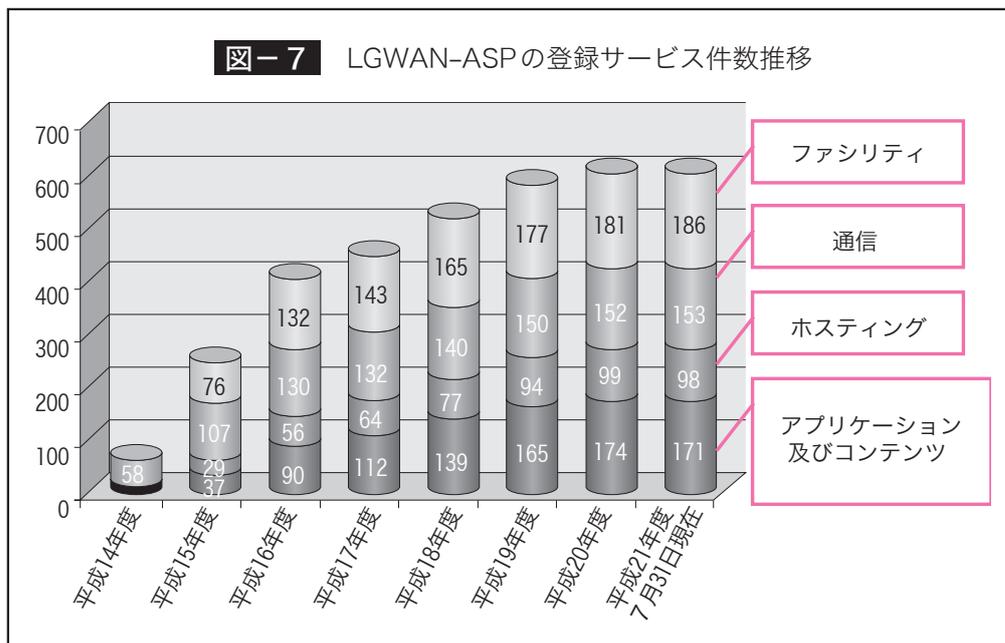
今後とも、標準型・共同型システムの利用や、複数のLGWAN-ASPが連携した形態が増加することで、サービスの経済性や利便性が向上するとともに、高度化が進むものと考えられ、地方公共団体のIT化に大きく貢献するものとして期待されています。

## 7 最近の動向

現在登録されているLGWAN-ASPのサービス総数は、平成21年7月31日現在608件で、その数は年々増加しています。

なお、今年度はアプリケーション及びコンテンツサービス等の登録数が若干減少していますが、これは、地方公共団体が共同利用を目的として自ら運営していた電子申請などの

※ サービスは総合行政ネットワーク運営主体が担っている。



### LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成21年8月11日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録	172件	■ホスティング	接続	97件
■通信	登録	153件	■ファシリティ	登録	186件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,0,41.html>